

繁華街の明かりに照らされて練り歩く踊り連 = 2日、鹿児島市(蓑田智史撮影)



夜の天文館 8000人総踊り きょう本まつり

鹿児島島の秋の風物詩「第65回おはら祭」(同祭振興会主催)が2日、天文館一帯で始まった。夜まつりの総踊りでは82連8000人が、冷え込む夜空の下で元気いっぱい踊った。3日は本まつりがある。

第12代かごしま親善大使の任命式やおごじょ太鼓の競演後、総踊りがスタート。法被や浴衣姿の参加者はおはら節やハンヤ節、渋谷音頭に合わせて、踊り歩いた。長野県松本市や山口県萩市など県外

おはら祭始まる

の観光宣伝隊も軽快に舞った。

日置市の日置地区連は57人が参加。東裕子さん(24)は「寒いけど、踊ったら温かくなった。楽しい」、犬童順子さん(66)は「おはら祭で踊れてうれしい」と喜んだ。

本まつりは、午前10時40分と午後2時から総踊り。マーチングと伝統芸能は午後0時20分から登場し、祭りは最高潮を迎える。会場周辺は交通規制される。サンサンコールかごしま=099(808)3333。

(清水裕貴)